少子化時代における東北公益文科大学の在り方と公立化に向けた工程について

代表質問

石黒党・議員／質問

令和2年9月定例会において、東北公益文科大学を公立化する必要性について議論が行われました。少子化時代において、地域における高等教育、大学教育の重要性は、誰しもが認めます。しかし、私立大学の定員確保や経営維持など、大学の運営努力だけでは乗り越えられない時代になりつつあることも、事実ではないでしょうか。

このようなことから9月定例会で吉村美栄子知事は、「改革の取り組みが実を結び、多くの学生が県内外から本大学へと集うようになってきています。やまがた創生の実現に向けて、若者の県内定着を進めていくうえでも、本大学が果たす役割は重要性を増してきております」と強調されました。また「全国的には、本大学と同様の公設民営大学において経営の持続性を高めるとともに、運営の安定を図るため『公立大学法人』に設置方式を変更する事例が見られる」として、「県としても、本大学の公立化は、選択肢の一つであると認識しています。これまでの実務者での検討内容を参考にしながら、大学のさらなる機能強化も含め、将来の本大学のあるべき姿について、総合的な検討をしっかりと前に進めます」と答弁しました。

本大学の運営にご尽力いただいております新田理事長は、「地域づくりのすべては、人づくりにあり、教育が100年先の地域をつくる」と語ります。その理念を未来に繋ぐためにも、東北公益文科大学の公立化は、しっかりと進めていく必要があると思います。

報道では、全国で600ほどある私立大学の約3割が定員割れということです。また、本大学公立化勉強会報告書に記載されているように、県、庄内2市3町および東北公益文科大学による「検討会議」を立ち上げ、議論する必要性があると考えます。当然、公立化のために総務省および文部科学省の認可が必要であり、その手続きはどの程度の年数が必要なのか、検討会議の設置や今後の工程について、総務部長に伺います。

総務部長／答弁

東北公益文科大学の在り方については、令和2年9月定例会において、少子化が今後一層進むことを考慮すれば、本大学に関わる関係者が知恵を持ち寄り、改めて検討を行う時期にきており、さらなる機能強化や選択肢の一つである公立化も含め、総合的な検討をしっかり前に進めていくことを、知事より回答しました。

この方針により、庄内地域2市3町の実務者で取りまとめられました報告書も参考にしながら、課題の洗出しなどを進めるとともに、2市3町と検討の視点や項目、進め方などについての協議を開始しています。その検討は、本大学がやまがた創生の実現に向けて、若者の県内定着を進めていくうえで、どのような役割を果たしていくべきか。また、そのためにはどのような在り方が最善なのかという観点から、幅広く検討を進めていく必要があります。さらに、県と2市3町の役割分担や財政負担の在り方などもあります。こうした検討の過程において、議論を進める考えです。

検討の結果、公立化を行うことになった場合の手続きなどに要する期間について、本大学との類似性がある平成24年度に公立へ移行した鳥取環境大学の例では、公立化の方針を決定した後、移行の準備や手続きなどで、約1年半を要していました。本大学が県の教育研究や人材供給の重要な拠点として、永続的に存続していけるように、着実にかつ速やかに検討を進めたいと考えています。

石黒さとる 活動日誌

文教公安常任委員会 県内現地調査（高畠町）

亀岡駐在所と和田駐在所が統合されて、旧高畠町立第三中学校跡地に令和2年4月より「南陽警察署高畠南駐在所」が開設。

文教公安常任委員会 県内現地調査（天童市）

ICT活用による学習活動の推進校・寺津小学校を調査。外部講師の授業やプログラミング教室などの教育が充実しています。

酒田港国際ターミナル拡張部 供用開始式に出席（酒田市）

コンテナ船の2隻同時接岸が可能となり、地域経済の牽引に大きな役割を担う酒田港がまた一段と強化されました。

最上川河口右岸クリーンアップ 作戦に参加（酒田市）

庄内海浜美化ボランティアとして、裸足で歩ける庄内海岸を目指した「美しいやまがたの海」クリーンアップ運動に参加。

山形県・令和2年度9月補正予算の主な事業②

健康福祉部●福工連携による介護現場支援事業（介護事務所における、移乗支援、排泄支援、入浴支援、見守りセンサーなどの介護ロボットの導入などに係る経費に対する補助など）……5,500万円

産業労働部●海外拠点回帰・サプライチェーンなど構築支援事業（県内で生産拠点や事業拠点を整備しようとする企業に対して、その整備にかかる経費を支援）……5億0,000万円

産業労働部●正社員雇用促進事業（新型コロナの影響により県に移住した方を県内事業所において正社員として採用した場合、その事業所および移住者に対して奨励金を支給など）……9,900万円

県土整備部●住環境向上および住宅・木材産業活性化緊急促進事業（落ち込んだ住宅・木材需要を喚起するために、住宅の新築工事やリフォーム工事費用の一部を支援）……1億0,140万円

新型コロナウイルスに関連する「誹謗中傷」と「あおり運転」の事例について

文教公安常任委員会

石黒委員●新型コロナウイルス感染症に関連した誹謗中傷や事件の発生状況はどうですか。

参事官（兼）生活安全企画課長●新型コロナに関連した刑法犯は、令和2年6月末では、8件発生しており、飲食店に対してSNSなどで新型コロナに感染したと誹謗中傷した事案、営業自粛中の店舗に設置していたガスボンベが盗難にあった事案、さらに大型スーパーなどのトイレに設置されていた消毒液が盗難にあった事案などがあります。

石黒委員●教育現場における、新型コロナに関する誹謗中傷やそれに対する対応策などはどうですか。

義務教育課長●学校再開にあたり、児童生徒に新型コロナに対する正しい知識を習得させるとともに、生命の尊さと命の大切さを考えさせるよう各小中学校にお願いしています。指導にあたっては、日本赤十字社で作成した教材を小中学校でも活用するように周知しています。

石黒委員●県内において「あおり運転」の事例はありますか。

参事官（兼）交通企画課長●「あおり運転」については、これまで道路交通法上の定義はありませんでしたが、「妨害運転罪」が令和2年6月30日に施行され、一般的に前の車との車間距離を詰める行為や後ろからのパッシング行為など10種類があります。違反については、県内でも様々な通報がなされています。

石黒委員●コロナ禍の前後における不登校の状況はどうですか。

義務教育課長●コロナ禍前後の比較はできませんが、学校再開に伴う児童生徒の心のケアに関する実態調査を行っています。その内訳は、「不登校」「登校しぶり」について小学校では児童からの相談が172件、保護者からの相談が449件、中学校では生徒からの相談が150件、保護者からの相談が369件でした。

皆さまのご意見、ご要望をお気軽にお聞かせください。

皆さまからいただいた県政に対する意見、感想や、お困りのこと。そして、未来への願いなどは、今後の県政の質疑や政策づくりに優先的に生かしていきます。

山形県議会議員 石黒 覚
事務所●〒999-6711 山形県酒田市飛鳥234-2
Tel.Fax.● 0234-52-2862
URL.https://www.isiguro.net/ E-mail. satoru@isiguro.net

Satoru Ishiguro's Press
発行日●2021年1月吉日
発行人●山形県議会議員 石黒 覚
事務所●〒999-6711 山形県酒田市飛鳥 234-2
Tel.Fax.● 0234-52-2862
URL.https://www.isiguro.net/
E-mail. satoru@isiguro.net
公式Facebook●
https://www.facebook.com/satoru.ishiguro.5
公式Twitter●
https://twitter.com@ishiguro_satoru

石黒さとる 県政報告 希望への懸橋

●Vol. 19

庄内一丸、知恵と力で世界へ発進

令和2年4月24日（金）、山形県議会として「新型コロナウイルス感染症から県民の生命と暮らしを守るための緊急提言書」をまとめ、吉村美栄子知事へ金澤議長より手渡しました。

令和2年5月27日（水）、酒田市北俣地区の地域支援員の方々と平田刺し子の会の皆さまを代表して「魔除刺し子紅花染マスク」を吉村美栄子知事にお渡ししました。吉村知事は、ご当地PRマスクを新型コロナウイルス感染症の終息を願う県民のシンボルとして活用しています。

令和2年10月14日（水）、若者の県議会への理解と関心を深め、議会をもっと身近に感じていただくことを目的にした意見交換会を山形東高等学校の1年生約240人と行いました。

迎春、年末年始の大雪にみまわれた皆さま、心よりお見舞い申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症対策に日々、ご尽力いただいている医療・介護従事者の方や職員の皆さまに心から敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。日頃は、私の県議会活動に深いご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

昨年は、コロナ禍の猛威により学校の臨時休校や営業自粛要請、日常活動の自粛など、生活に大きな衝撃を受けました。また、7月の豪雨災害により最上川が氾濫、被害総額は、約四三二億円に達しました。その一方で、日本海東北自動車道酒田みなとIC―遊佐比子IC間が開通し、遊佐町に高速道路が開通。酒田港国際ターミナル拡張工事が完成で、コンテナ船2隻の同時接岸と効率的な荷さばきが可能になりました。さらに、国道7号と酒田港高砂ふ頭の国際ターミナルを結ぶ臨港道路（約二キロメートル）の四車線化事業や国道112号実生橋の架け替え事業が計画されました。

家族に会えること。大切な人に会えること。この何気無いことが幸せなことだと、気付かされた一年となりました。

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないなかで医療崩壊を防ぐためには一人ひとりが、感染のリスクが身の回りにあると考え、手洗いの徹底、マスクをしっかり着用、こまめな換気、身体的距離の確保、3密の回避などの「新・生活様式」の徹底をお願い申し上げます。また、発熱などがある場合は、仕事や外出を控えていただき、「かかりつけ医療機関」「受診相談コールセンター」に電話相談をしてください。ご高齢の方や基礎疾患をお持ちの方は、重症リスクが高くなりますので、そのご家族の方なども含めて、より慎重な行動をお願い申し上げます。

コロナ禍という未曾有の難局に立ち向かい、感染防止と地域経済を両立するために、一つひとつの声を丁寧に全力で取り組み、施策提言を継続していきます。今後も、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。寒い季節になりました、どうぞ体調などにお気をつけてお過ごしください。令和3年が少しでも明るい年となりますように。

山形県議会議員 石黒 覚

県内新型コロナ 受診・検査の相談窓口

発熱や咳などの「病状がある」場合

かかりつけ医療機関がある場合 ↓ 電話相談

かかりつけ医療機関がない場合 ↓ 電話相談

かかりつけ医療機関
受診前に、必ず電話で受診相談をお願いします。
相談を受けた医療機関で対応できないときは、最寄りの対応医療機関をご案内します。

受診相談コールセンター
0120-88-0006
（フリーダイヤル）
受付時間／24時間対応（土日祝日も含む）

↓ ご案内

発熱などの患者の診療や検査を行う「診療・検査医療機関」が診察します。

「病状がない」場合

感染していないか心配。予防方法を聞きたいなど ↓ 電話相談

一般相談センター
県内統一番号 0120-56-7383（フリーダイヤル）
受付時間（土日祝日含む）／8:30から18:00

厚生労働省「電話相談窓口」
0120-56-5653（フリーダイヤル）
受付時間（土日祝日含む）／9:00から21:00

こころの健康相談
県精神保護福祉センター 023-631-7060
受付時間（月～金）祝日除く／9:00から12:00、13:00から17:00
庄内保健所地域保健福祉課 0235-66-4931
受付時間（月～金）祝日除く／8:30から17:15

所属委員会（令和2年度）

- ●議会運営委員会（副委員長）
- ●文教公安常任委員会
- ●予算特別委員会
- ●新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
- ●山形県議会定数等検討委員会